

町民・議会・行政(三つの主体)が三つの基本原則で

三原則

- ①情報共有～町の現状や取り組み、地域の実情や課題をお互いに知らなければ、まちづくりへの関心も動機も生まれません。「知ること」からスタートします。
- ②参加～知った後に行動(参加)しなければ、何も始まりません(変わりません)。
- ③協働～一人で出来ることは限られています。連携・協力すれば、そこに絆が生まれ、効果・効率面で大きな成果(相乗効果)を生み出します。



地域座談会の様子

基本理念

町民、議会および行政が、相互に協力した町民主体のまちづくり

●それぞれの役割と責務

町民

(町民、事業者)



- 年齢を問わずまちづくりに参加する権利を持ち、積極的に参加する
- 自らの発言と行動に責任を持ち、互いの意見や行動を尊重する
- 町民一人ひとりが持つ能力と時間を活かし、まちづくりを進める
- 事業者は地域社会を構成する一員として、社会的責任を自覚し、まちづくりに寄与する



情報共有

互いに
まちづくりに
関する情報を
共有する

参加

町民自らの
意思に基づき
まちづくりに
参加する

協働・連携協力

相互に
連携・協力して
まちづくりを
進める

議会

(議会・議員)

- 行政の事務執行を監視および政策提言などをする
- 議会審議に関する情報や町政の課題などを積極的に公開し、町民に対する説明責任を果たす
- 町民の負託(※)に応え、誠実かつ公正に職務を遂行する
- 町民の意見を反映し、政策形成や議会審議に反映する

行政

(町長、職員)

- 誠実かつ公正な町政運営を進める
- 町民との交流または対話の機会を設けて町民の意見を把握し、町政に反映させる
- 職務遂行に必要な知識や技術などの能力の向上に努める

※責任や任務を持たせて任せること

町を元気にする 地域力!

地域力向上促進事業助成金
活用団体の紹介②

藍の葉



緑の山に囲まれた寄地区で、日がな1日おしゃべりしながら藍染を樂しみます。

藍染を通して、
自然豊かな寄地区的魅力を発信したい
町民団体 “藍で染めよう”

活動：毎月第4日曜日

場所：弥勒寺多目的集会施設

一日体験参加費：1回700円 材料代別途

問い合わせ ☎(88)3358 (岩田)

寺多目的集会施設で月に1回、藍染を楽しむ団体です。近くにおよそ100坪の畑を借り、自分たちで染料となる藍を育て、その葉を日光で乾燥させた乾燥葉を使つて藍染を行っています。平成17年に行われた日本大学による地域再生の取り組み「プロジェクト寄」の中で提案された、不耕作地を活用した地域おこし活動をきっかけとして平成20年に発足しました。寄地区的女性有志が、一から藍染を勉強して活動を続けています。活動日には、会員が染めたい布や糸を持参し、思い思いに作品づくりを楽しみます。また、現在では藍染体験も有料で行っています。

大きな鍋で乾燥葉を煮出し、布や糸を染める「乾燥葉染め」は、さまざまな色合いで染めることができます。活動日には外の竿にたくさんの美しい布がはためきます。ロウバイまつりなどのイベントを通じて会を知り、横浜や茅ヶ崎など遠方からくる方も増え、藍染を楽しみながら寄の自然や四季を感じられることも、人気の理由の1つとなっています。

代表の岩田裕子さんは、「自分たちが楽しむことを大切にして、10年以上続けてきたら、ようやく町外の方にも知つてもらえるようになりました。自然を感じながら藍染を楽しむ素晴らしさを、若い方にもぜひ体験してほしいです。」と話されていました。

初めての方やお子さんでも気軽にできるので、ぜひ一度体験してみませんか。